

- 自然を守りながら都市の安全を確保することが両立できる手法はないか(10)
- 自然環境の保全を重要視すべき(6)
- 現状を維持し、自然を残すべき(3)
- 都市化しているので引き堤や築堤は難しそうだが、川の自然は大切にしたい(3)
- 極力自然を残す。水害が起こった後の対策も大事
- ヨシ原など良好な自然を残せないか

4-3 治水工事にあたっては、河川空間の利用も考慮すべき

- 河川敷の遊び場や河川空間の自然を守るため、流域全体での対策に注力すべき(12)
- 河川空間を利用しやすいような整備が望ましい(8)
- 河川に治水機能のみではなく、自然観察などでもできるような教育機能も付加するべき(2)

4-4 コストと効果も考慮して、治水工事を進めるべき

- コストと効果を考慮しながら、治水工事は適切に行うべき(6)
- 治水工事は、効果が最大限に発揮されるよう、適切に行うべき(2)
- コストの観点から、河床を掘削すべき(2)
- 治水工事の際には事故やムダがないよう、適切に行うべき

4-5 治水工事に係わる情報提供が大切

- 工事の内容、目的、スケジュール等を明示すべき(3)
- 新たに移転してくる市民に正確な治水情報を提供すべき

5 水質の改善をどのように進めていくべきか？

5-1 泳げるくらい、安全に水とふれあえるくらい、多様な魚がすめるくらい、など、目標を立てて水質改善に取り組むべき

- 水質を今よりも改善すべき(14)
- 安心して泳げるくらいの水質にすべき(10)
- 多様な魚が棲めるように、水質を改善すべき(10)
- 子供などが安全に水とふれあえるくらいの水質が必要(3)
- 天然鮎が棲めるような川に(3)
- ゴミが流れていない川に
- 安心して飲めるような水に
- 魚が食べられるくらいきれいな水になると良い
- 魚が釣れて、子供が遊べるのが大事
- 黒川などにも流せるくらいきれいな水にすべき
- 川底が見えるくらいに、水質を改善すべき

5-2 この程度の水質を維持できればよいのではないのか

- 水質は改善してきている(6)
- ずいぶん良くなったので、この程度の水質で十分

5-3 水質を悪化させている根元を断つような対策を施すべき

- 工場排水や窯業水を規制して、濁っていない川に(4)
- 下水道整備を進め、水質改善したらどうか(2)
- 家庭排水が水質悪化の問題では(2)
- 上流での下水道整備をすすめるべき
- 水質改善のために各種装置を導入すべき
- 各市民が家庭排水に注意し、水質を改善すべき

5-4 市民の負担を考慮に入れた、水質改善対策を進めるべき

- 個人の負担が増えても構わないので、水質改善に取り組むべき
- 水質浄化のための市民負担は必要だが、なるべく抑えられるような工夫が必要

5-5 住民の意識改革を進め、水質改善につなげたらどうか

- まずは住民の意識改善が必要。そのためには、水質改善が住民にもたらす影響を示すべき(3)
- 川に関するデザインを小学生に募るなどすれば、河への愛着も生まれるのでは
- 誰にでも分かりやすいスローガン、取り組みを検討すべき

5-6 水質改善のためには河川管理の改善が必要ではないか

- 水質改善のため源流から河口まで一貫した管理が必要なのではないか

6 外来生物への対処をどうしていけばよいのか？

6-1 在来生物を尊重し、外来生物を駆除できるよう、なんらかの対策を施すことが必要

- 在来生物の維持のため、外来生物を規制するような対策を施すべき(10)
- 駆除するのは困難だが、極力駆除するような努力はしていくべき。(6)
- 在来種が戻り、昔のように多様な魚が棲めるようになると良い

6-2 外来生物が入ってくるのは自然の摂理で仕方のないこと

- 外来生物が入ってくるのは自然の摂理。仕方がない(4)
- 現実的には駆除は難しい。仕方がない(2)

6-3 物理的に在来種と外来種を隔離して、共存できるようにできないか

- 在来種が逃げられるような工夫はできないか(3)
- 外来種を隔離するようなことはできないか(2)
- ビオトープ等によって生態系を守り、生物が増えるようにすべき

6-4 外来生物増加の原因や、外来生物の影響をまず明らかにすべき

- 外来種がどこから来るのか原因をあきらかにすべき
- 外来生物が環境に与える影響をまず明らかにすべき
- 川鵜の影響も明らかにすべき

6-5 外来生物を放す人のモラルが問題

- 外来種のペットを放したり、放流することはモラルの問題(2)

7 堤防道路をどのようにしていけばよいのか？

7-1 サイクリングや散歩など安全に憩える空間にすべき

- 安全に散歩やサイクリングできる空間が必要(36)
- 歩行者優先のため、堤防道路への車の流入を規制すべき(5)
- 地域住民が憩える場としたい(3)
- 夜間も安全に散歩やサイクリングができるよう、整備すべき(3)
- 自転車で橋の下をくぐれるようになると良い

7-2 車の往来が激しく危険なので、安全な歩行と両立できるような工夫をすべき

- 堤防道路は車の通行が激しくてきわめて危険なので、安全性を改善すべき(15)
- 車の往来が激しく危険だが、便利なのでなんとか車の通行と安全な歩行とが両立できないか(7)
- 危険なので、大型車の流入を規制すべき(6)
- 今後も車が走行できるよう道路として整備するとともに、自転車や歩行者が安全に通行できるようにすべき(3)
- 両立が難しいので、どちらかに特化すべき